



基礎情報（個人情報・プロフィール・フェイスシート）

名前（ 高知 一郎 ）

本人	ふりがな	こうち いちろう	性別	男・女	
	氏名	高知 一郎	住所	高知市丸ノ内1丁目2-20	
	生年月日	平成 15 年 1 月 1 日			
保護者	ふりがな	こうち たろう			
	氏名	高知 太郎	続柄	父	
	住所	高知市丸ノ内1丁目2-20	電話番号	088-823-9635	
緊急連絡先(氏名・住所・電話番号)					
家族構成	氏名	続柄	別居・同居・必要に応じて連絡先		
	高知 太郎	父	同居		
	高知 花子	母	同居		
特記事項					
<ul style="list-style-type: none"> アレルギーがある（卵・牛乳） 緊急時の連絡先は、①父（携帯番号：090-XXXX-XXXX）、②母（携帯番号：090-XXXX-XXXX）の順で。 					
記入者	高知 太郎	続柄	父	記入年月日	平成 22 年 4 月 1 日

アセスメントシート① 【心理検査履歴】

名前 (高知 一郎)

実施日	実施機関・実施者	検査の種類
平成21年 7月 1日 (3 歳 6 か月)	実施機関： ○○療育センター 実施者： 検査 太郎	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input type="checkbox"/> 田中ビネー <input checked="" type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
平成22年 9月 12日 (4 歳 8 か月)	実施機関： ○○療育センター 実施者： 検査 太郎	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input checked="" type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
平成23年 7月 24日 (5 歳 7 か月)	実施機関： △△教育センター 実施者： 教育 花子	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input checked="" type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input checked="" type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
平成25年 2月 13日 (7 歳 1 か月)	実施機関： ○○療育センター 実施者： 検査 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input checked="" type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
年 月 日 (歳 か月)	実施機関： 実施者：	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
年 月 日 (歳 か月)	実施機関： 実施者：	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
年 月 日 (歳 か月)	実施機関： 実施者：	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
年 月 日 (歳 か月)	実施機関： 実施者：	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()
年 月 日 (歳 か月)	実施機関： 実施者：	<input type="checkbox"/> WISC <input type="checkbox"/> WAIS <input type="checkbox"/> WPPSI <input type="checkbox"/> K-ABC <input type="checkbox"/> 田中ビネー <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> S-M社会生活能力検査 <input type="checkbox"/> 乳幼児精神発達診断(津守・稲毛式) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> その他 ()

アセスメントシート②【心理検査結果】

検査日	検査者(所属)	検査時年齢	全検査IQ	言語性IQ	動作性IQ	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	全検査IQ	言語性IQ	動作性IQ	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度
検査日 H25.2.13	検査者(所属) 〇〇療育センター	検査時年齢 7歳1か月	全検査IQ 98 (94-104)	言語性IQ 87 (82-93)	知覚推理 102 (95-108)	ワーキングメモリー 110 (103-116)	知覚統合 97 (90-105)		
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	全検査IQ	言語性IQ	動作性IQ	言語理解	知覚統合	作動記憶	処理速度
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	全検査IQ	言語性IQ	動作性IQ				
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	同時処理尺度	継次処理尺度	認知処理尺度	習得度尺度			
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	精神年齢	知能指数					
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	歳 か月						
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	全領域	発達指数	姿勢・運動	発達指数	認知・適応	発達指数	言語・社会
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	社会生活年齢	社会生活指数	身辺自立	移動	作業	意思交換	集団参加
検査日 H25.2.13	検査者(所属) 〇〇療育センター	検査時年齢 7歳1か月	6歳4か月	89	5歳11か月	6歳6か月	6歳7か月	6歳2か月	6歳8か月
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	発達年齢	運動	探索・操作	社会	食事・排泄・生活習慣	理解・言語	
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	検査時年齢						
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月	歳 か月
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	検査時年齢						
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	検査時年齢						
検査日	検査者(所属)	検査時年齢	検査時年齢						

※検査を実施した機関に記入を依頼するとよいでしょう。

時系列シート【在園・在学中の記録】

名前 (高知 一郎)

◆保育所・幼稚園・学校歴

在園・在学期間	学校名
平成18年 4月～平成21年 3月	かつお幼稚園
平成21年 4月～ 年 月	かつお小学校
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などの履歴を記入しましょう。

◆保育所、幼稚園、学校以外での習い事など

利用期間	内容
平成20年 4月～平成21年 3月	児童発達支援センター こうち
平成21年 4月～平成24年 9月	放課後等デイサービス まるのうち
平成23年 4月～ 年 月	こうち スイミングスクール
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

※塾やスイミング教室などの習い事や、デイサービスなどのサービスの経験がある場合は記録しておきましょう。

時系列シート【乳幼児期(発達の記録)】

名前 (高知 一郎)

(4)か月児健診	<input type="checkbox"/> 所見なし <input type="checkbox"/> 所見あり <input type="checkbox"/> 未受診	受診場所
(10)か月児健診	<input type="checkbox"/> 所見なし <input type="checkbox"/> 所見あり <input type="checkbox"/> 未受診	受診場所
1歳児健診	<input checked="" type="checkbox"/> 所見なし <input type="checkbox"/> 所見あり <input type="checkbox"/> 未受診	受診場所：〇〇病院小児科
1歳6か月児健診	<input type="checkbox"/> 所見なし <input checked="" type="checkbox"/> 所見あり <input type="checkbox"/> 未受診	受診場所：△△市保健センター
3歳児健診	<input type="checkbox"/> 所見なし <input checked="" type="checkbox"/> 所見あり <input type="checkbox"/> 未受診	受診場所：△△市保健センター
就学時健診	<input type="checkbox"/> 所見なし <input type="checkbox"/> 所見あり <input type="checkbox"/> 未受診	受診場所

主な発達過程

首のすわり	3か月	ひとり歩き	12か月
あやし笑い	3か月	指さし	18か月
寝返り	5か月	ママ、ブーブーなど意味のある言葉	18か月
おすわり	6か月	「わんわん来た」等の二語文	30か月
はいはい	7か月	ごっこ遊び	30か月
人見知り	6か月	排尿自立	36か月
つかまり立ち	8か月	排便自立	か月
視線が合わない・合いにくい	(有)・無		
抱かれることを嫌がる	(有)・無		
「ママ」など一旦出ていた言葉が出なくなった	(有) (どんな言葉「バイバイ」いつ頃から 1歳半ごろから))・無		
言葉以外で、一旦できるようになったことができなくなった	有 (どんなこといつ頃から))・(無)		
その他			

個別の指導計画（様式例）

作成日	平成20年 6月 1日（月）		記入者	〇〇 〇〇	評価計画 (PDCA)	3か月ごとに評価する。
氏名	ふりがな こうち いちろう 高知 一郎		生年月日	平成15年 1月 1日	診断等	自閉的な傾向があるが、診断するほどではないと言われている。3か月に1回程度、定期的に受診している。知的発達には現在心配ないと伝えられている。
			クラス	5 歳児 かつお 組		
保護者 本人の願い	これまでの地域のつながりや友達との関係を大切にしたい。			担任の 願い	友だちと遊んだり、一緒に行動したりすることを楽しんでほしい。 活動が変わる時に気持ちの切り替えがスムーズにできるようになってほしい。	
専門家 からの助言	スケジュールの提示や予告など見通しがもてるようにして、気持ちの切り替えを促す。 視覚的、具体的な物を使って伝える。言葉かけは簡潔、明瞭に伝える。					
	子どもの実態	考えられる背景・要因	長期・短期の目標	援助・指導方法（手立て・場）	子どもの変容	評価
生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 着替えに時間がかかる。 野菜を食べない。 	<ul style="list-style-type: none"> 着替えの手順が分からない。 集中が続かない。 においを嗅いでいる様子から、においに対して拒否感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> （短）手順表を見て大人と確認しながら10分程度で着替えられる。 （長）自分で手順を見て着替える。 （短）においの少ない野菜なら食べられる。 （長）自分で野菜を食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順表を使って保育士と確認しながら着替える。 着替えのスペースを保育室の隅に固定し、周囲からの刺激を受けないようにする。 ①量を少なくする。 ②上手に残す方法を教え、無理強いをしない。 ③園と家庭で協力して、調理方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が声をかけると自分で手順表を見て着替えるようになった。 少しずつ食べる姿が見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順表を使うことでわかりやすくなり集中するようになった。 量を少なくしたり、においを抑えたりすることで、拒否感が少なくなった。
コミュニケーション 言葉	<ul style="list-style-type: none"> 物を見せて指示をすることでできることがある。 自分の興味のあることは友達に積極的に話しかける。 言葉だけによる指示やりとりでは伝わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 耳からの情報だけではわかりにくい。 一度に複数のことを言われるとわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> （短）個別に指示すれば、理解し行動する。 （長）全体指示のなかで本児にわかりやすい指示をすれば、他児と同じペースで行動を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物、絵、写真を使いながら説明する。 簡潔に指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物、絵、写真に注目して話を聞いている。 みんなと一緒に行動することが増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的な支援をすることで、わかることが増えた。
遊び	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある遊び（フィギュア）には集中して遊べる。 鬼ごっこ、サッカーなどルールのある遊びに入らないことが多い。 気持ちの切り替えがでず、次の活動に移れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールがわからず楽しくない。 鬼が変わるなど、変化があり状況判断を求められるルールはわかりにくい。 自分の見通しが変わることや、急な予定の変更不安で受け入れにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> （短）簡単なルールを理解して遊びに参加する。 （長）いろいろな遊びに参加する。 （短）大人とスケジュール表を確認して、活動する。 （長）自分でスケジュールを確認して、次の活動に移る。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの仲間に入りたいたいと思えるような単純なルールを設定する。 鬼ごっこでは、鬼の目印をつける。 鬼ごっこの範囲をライン引きする。 サッカーはチーム別に色帽子やゼッケンで視覚的な手がかりをつくる。 本児の好きな遊びを中心とした活動を設定し、友達とかわかれるようにする。 登園したら、一日のスケジュールを保育者と確認する。 次の活動に移る5分前に予告する。保育者とスケジュール表で確認しながら次の活動に移る。 遊びの終わりのルールを決めて、事前に本人と約束する。 「これが終わったら…」 「いつ、できる」などの折り合いのつけ方を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 鬼ごっこに入り、鬼から逃げられるようになった。 次の活動の前に終わりのタイミングを伝えられるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 目印をつくることで、わかりやすくなり、主体的に遊べる支援になった。 予告することで気持ちを切り替えやすくなった。
人とのかわわり 集団への参加	<ul style="list-style-type: none"> 特定の友達に自分から関わるができる。 気に入らないことがあると、友達とトラブルになり叩いたり蹴ったりしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちがわからない時や、言い方がわからない時に叩いてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> （短・長）自分の気持ちなど、伝えたいことを言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の言いたいことを聞いてあげる。 日ごちから観察し、叩く気配があれば事前に止める。 その時の場面をとらえて、〇〇って言ったほうがいいよと伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> トラブルの後、自分の気持ちを話すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちを聞くという支援で、トラブルになった時の自分の気持ちを伝えることができた。
その他						

※個別の指導計画については、高知県教育委員会が様式（例）を示していますが、市町村・保育所・幼稚園の実情に応じた様式などがあれば、既存の計画等を活用して、代わりに綴じていただいても構いません。

支援状況シート（様式例）

作成日 平成 年 月 日

本人・保護者の願い	・これまでの地域のつながりや友達との関係を大切に、さらに交流を深めたい。				
興味・関心	・〇〇のキャラクターのフィギュアに興味がある。 ・洗濯機や換気扇などくるくると回るものに興味がある。				
得意なこと	・機械的な記憶が得意。				
苦手なこと	・大きな集団に入ることや、騒がしい場所、大きな音が苦手。				
配慮や支援が必要な場面		支援	様 子	支援内容	
生活面 身辺処理面	食事	○	野菜が食べられない。	・無理強いをせず、量を加減する。	
	排泄				
	衣服の着脱	○	着替えに時間がかかる。	・手順表を使って確認しながら着替える。	
	移動				
	睡眠	○	睡眠のリズムが乱れやすい。	・医療に相談し、適切なアドバイスを受ける。	
	危険認知	○	興味が湧くと周囲の状況に関係なく行動する。	・極めて危険な行動は、不快な刺激で止めさせることも時には必要。	
	その他				
社会性 コミュニケーション	指示の理解	○	言葉による指示だけでは理解が難しい。	・視覚的な情報を添える。	
	言葉によるコミュニケーション	○	言葉だけでは成立しにくい。	・具体物、絵や写真などを用いたり、具体的で分かりやすく、大切な点を簡潔に話すよう心がける。	
	人とのかかわり方	○	一方的に話したり、トラブルになることがある。	・場面場面で気持ちを代弁し、良いこと良くないことを理解させる。	
	集団参加	○	避ける傾向が強い。	・前もって行き先、その場での活動、見通しなどを伝えておく。	
	ルールの理解・遂行	○	ルールのある遊びに入ることができない。	・本人が分かりやすい単純なルールで参加できる場面を作る。	
	感情のコントロール	○	気持ちの切り替えができず、次の活動に移れない。	・予定表を示し、予告する。 ・折り合いの付け方を教える。	
	注意の集中				
その他					
健康面 身体機能面	疾病・身体機能				
	見え方				
	聞こえ方				
	姿勢保持				
	粗大運動・微細運動	○	問題ないが模倣する力が弱い。	・相手を意識させ、粗大運動など簡単な模倣ができる力をつける。	
	その他				
学 び の 基 盤	事物や場面の理解	○	字義どおりの解釈をしたり、これ、あれ、などが理解できない。	・指示など、話すときは具体的で分かりやすく簡潔にし、視覚的な情報を補足する。	
	文字への興味関心	読むこと		看板に書かれている文字などに興味がある。ひらがなの拾い読みができる。	特になし
		書くこと		ゴシック体の文字を好んで書く。	特になし
	数の理解		らまでの概念ができていない。	特になし	
	描くこと	○	絵を書くことが好きではない。	・本人の好きな色の紙やクレヨンで誘って描くことに興味をもてるようにする。	
その他					

※①このシートは小学校入学2～3か月前に記載すること。

※②支援を必要とする場面に○を記入すること。

就学サポートプラン（様式例）

作成日 平成 年 月 日

入学式及び就学2か月間程度の本人・保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式では落ち着いて最後まで式に参加してほしい。 ・新しい生活にスムーズに慣れてほしい。 ・友達と一緒に楽しく学生生活を送ってほしい。
-------------------------	--

○入学式で必要な指導及び支援の内容

想定される課題	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・初めての場所に不安を覚え、常同行動や回避行動をとることが予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に体育館に連れて行き慣れさせておく。 ・指定された座席には興味のあるものを置いておく（例：ウルトラマン絵カード）。 ・不意な身体接触、言葉掛けをしないよう心がける。 ・音楽、マイクなどのボリュームは必要最小限にしておく。 ・外に飛び出してもあわてず、静かに再入室を促すが無理強いはいはしない。

○就学後2か月程度必要な指導及び支援の内容

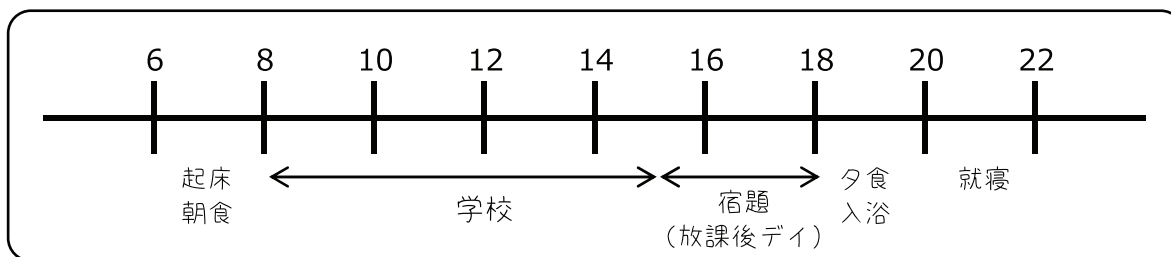
就学後の必要な指導及び支援の内容・配慮事項等		
区分	想定される課題	対 応
登下校	<ul style="list-style-type: none"> ・時間通りに登校できないことが考えられる。 ・放課後児童クラブでの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・当面（1か月程度）は保護者に送迎を依頼する。 ・集団登校に慣れさせる（可能であれば保護者に動向を依頼）。 ・日課スケジュールを固定化し変更をできるだけなくす。
学習時間	<ul style="list-style-type: none"> ・時間いっぱいじっとしていることができない。 ・言葉だけで指示すると伝わらないことが考えられる。 ・集団活動場面では学習にのらない、集団から離れることが考えられる。 ・体育等の着替えに時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20分ほどで集中力が途切れがちになることを目安に授業を工夫する。 ・具体物、写真、絵、文字など目で見てわかるものを使いながら説明、指示する。 ・小集団からはじめ、次第に大きい集団活動へ入るよう無理なく支援する。 ・行事等については、あらかじめ場所、学習内容を伝えるなど見通しをもたせる。 ・手順表を使って教員と確認しながら着替える。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちがわからずトラブルになることが考えられる。 ・騒がしいなかで、イライラするなどの様子が見られることが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が仲介役になり、コミュニケーションの練習をしながら人間関係づくりを行う。 ・落ち着けるスペースを確保しておき、時間になれば戻ってくるようルール化しておく。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜が食べられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理強いをせず、量を加減する。
（教材その他）	<ul style="list-style-type: none"> ・言語指示については、理解が難しい。 ・見通しをもって行動することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物や写真など視覚教材を有効に活用する。 ・始まりと終わりがはっきりと見て分かる工夫が必要。

※このシートは小学校入学2～3か月前に保育所・幼稚園等と小学校の教職員で記載することが望ましい。

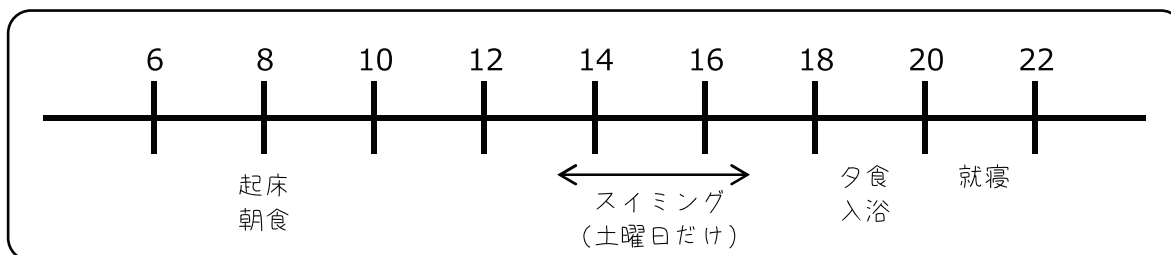
時系列シート【小学校の生活の記録】

名前 (高知 一郎)
 年齢 (8) 歳

◆平日の過ごし方



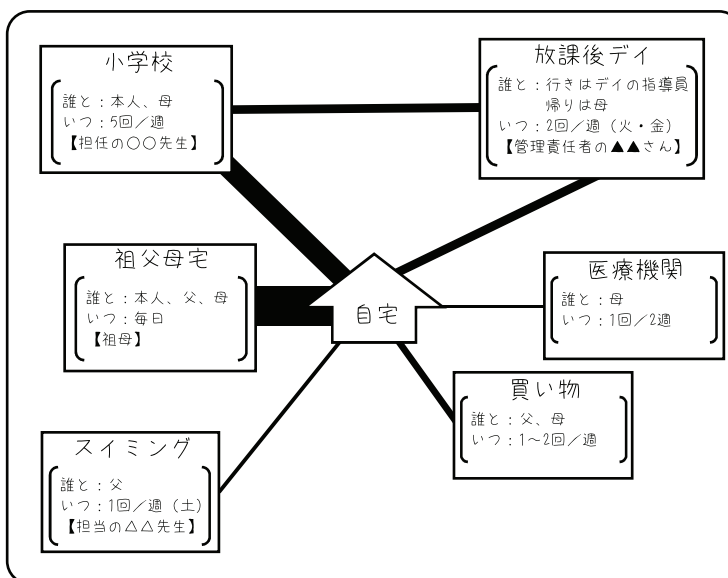
◆休日の過ごし方



◆1週間の過ごし方

	月	火	水	木	金	土	日
午前							
午後		放課後デイ			放課後デイ	スイミング	

◆生活地図



※「1週間の過ごし方」には、習い事や医療機関などは、通っている場所などを記入しましょう。

※「生活地図」には、支援のマップや子どもが生活している環境を表すような地図にしましょう。

※年に1回は見直すようにしましょう。

時系列シート【小学校の個別の指導計画】

記入日 年 月 日

氏名・学年	高知 一郎（小学校3年 男）	評価計画 (PDCA)	支援方法によって2週間～1か月実施。各担当の教員から支援方法の成果についての情報を交換して、学期に1回支援方法の計画立案。	記入者 (参加者)	担任 はりまや 大輔
保護者 本人の願い	<p>・国語が遅れているので力をつけてほしい。（保護者）</p> <p>・みんなと同じように本読みができるようにしたい。（本人）</p>		担任の 願い	<p>・国語については、2学年相当の漢字を読んだり書いたりできる。</p>	
学習面	<p>児童生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読はたどどしく、文字を抜かしたり、余分な文字を加えたりして読む。 形の似た漢字や意味の関連のある漢字を読み間違える。漢字を覚えることが苦手。 文字を視写することが難しい。 1年の漢字の習得は3割程度である。 算数では、時間がかかるとが理解はできていない。 	<p>考えられる背景・要因</p> <ul style="list-style-type: none"> どこを見ているのかわからない。 漢字を覚えられない。 似た文字の区別がつかない。 言葉の意味が理解できていない。 語彙不足、経路不足。 目と手の協応運動。 覚え方、解き方が分からない。 	<p>指導方法（手立て）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書に振り仮名や言葉の区切りの印をつける。（保護者の協力） 覚えにくい漢字の把握をし、覚え方の工夫をする。（言語化・絵・歌等） カードに書き出した漢字を毎日読む。 2年の教科書から、本人が2行ずつ選択し視写する。 学習方法の手順をカードに示す。 紙本や紙芝居の読み聞かせをする。 	<p>主な指導の場</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体指導の場（担任、T・T担当） 個別指導の場（管理職等） 個別指導の場（担任） 全体指導の場（担任、T・T担当） 全体指導の場（T・T担当） 	<p>児童の姿容・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭では、本人から「振り仮名をふって」と言ってくるようになった。 1年生の漢字の8割程度がすらすら読めるようになった。 視写では、昔手ながらも時間短縮できている。「もっと書きたい」と言う時もある。
生活 行動面	<ul style="list-style-type: none"> 指示がとおりにくく、周りを見て物事に取りかかることが多い。 書く時の姿勢や、鉛筆等の用具の使い方がぎこちない。 机の上の鉛筆や消しゴムなどをよく落とす。 	<p>長期目標・短期目標</p> <p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の話を聞き取ることが難しく、人の話を最後まで聞く。 <p>短期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞いたことをすくに忘れる。 一つのこと集中すると次に移れない。 手先の不器用さ。 	<p>指導方法（手立て）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習規律の徹底をする。 発問や指示をする時には、注意喚起をする。 聞いている時には、意識をして答える。 覚えがおかなければならぬことは、カードで視覚的に示す。 手先の不器用さについて、楽しいゲームや作業の中で指先の力をつける。 	<p>主な指導の場</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体指導の場（担任） 全体指導の場（担任） 個別、全体指導の場（担任） 個別指導の場（T・T担当） 個別指導の場（T・T担当） 	<ul style="list-style-type: none"> 意識して注意喚起することで、以前より聞ける態度が増えてきた。 全体的に学習意欲が増え始めた。 何をしたいのか分からないうちに友だちに聞けず困っていたが、このカードの利用の仕方が本人に分かり自信をもてるようになってきている。
社会性 対人関係	<ul style="list-style-type: none"> トランプやカードゲームで友だちとよく遊ぶ。 先生や友だちに自分から声をかけることは苦手である。 自分がどうしていいかわからなくなったり動けなくなってしまう。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びをとおしては、友だちとかわるることができる。 なんと声をかけられればいいのか分からない。 <p>短期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活の中で、困った時にどうしたらよいか分かる。 学級での活動場面で「分からないので教えて」「ありがとう」が言える。 	<p>指導方法（手立て）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活場面で会話のスキルを学ぶ機会を創やす。（個別で・学級で） 実際の場面をコマ漫画で視覚的に表現し、どう言えばよいかを学ぶ。 本人が困った時には、個別に説明をする。 	<p>主な指導の場</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別、全体指導の場（担任） 個別指導の場（担任、T・T担当） 個別指導の場（担任、T・T担当） 	<ul style="list-style-type: none"> 3回に1回ぐらいは、担任との合同で自分から言える。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 着替えや給食、掃除等の取りかかりや作業に時間がかかる。 筋力が弱い、バランスが取りにくい、不器用さがある。 作業に飽きていない。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考えて着替えることができる。 <p>短期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 着替え表を見て時間内に着替えることができる。 	<p>指導方法（手立て）</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の手順を視覚的に示す。 変化した体育の時間保護や休み時間の中で筋力をつける。集会等での楽しい工夫。 活動のはじめに声をかける。 友だちとの助け合い。 	<p>主な指導の場</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中、休み時間（担任） 学年集会、なわとび週間等 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の着替えや当番活動については、手順表を見てできてきた。

※個別の指導計画については、高知県教育委員会が様式（例）を示していますが、市町村・学校の実情に応じた様式などがある場合は既存の計画等を活用しましょう。

支援引き継ぎシート（様式例）

作成日 平成 年 月 日

（ふりがな） 氏名	こうち いちろう 高知 一郎	出身 小学校	高知市立かつお小学校	記載者 氏名	はりまや 大輔
--------------	-------------------	-----------	------------	-----------	---------

■ 基本情報

本人の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・美術部に入部して、絵を描きたい。 ・友達と仲良くしたい。
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良く、学校生活を送ること。 ・卒業後に、高等学校に進学できる力を付けてほしい。
得意なこと・興味 関心のあること・ 好きな教科	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描くことやゲームをすること。 ・好きなゲームのキャラクターを覚えること。 ・計算することや、機械的に記憶することは得意。
苦手なこと・苦 手な教科	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな集団に入ることや、騒がしい場所や、大きな音が苦手。

現在受けている外部機関の支援（通院・相談等を含む）

分野	支援機関名	担当者名	診断・所見・支援の内容	個別の教育支援計画に詳細有（○）
医療				
保健・福祉	（支援を受けていれば、記入してください。）			
教育				
地域 その他				

※基本情報の欄は、小学校が保護者から聞き取り記載すること。

■ 支援状況

配慮や支援が必要な場面		支援	小学校での様子 (長所・得意なことを含めた状況)	支援内容
生活面	生活リズム	○	<ul style="list-style-type: none"> ・急な予定変更や時間割変更などがあると、忘れ物をしたり、授業や活動に参加しなかったりすることがある。 ・睡眠がとれないことがあっても、時間通りに起床し、登校する。 ・手順やルールが決まっていることは、しっかりと守ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の時間割、日程等が変更になることが事前に分かっている場合は、1週間前から変更について黒板に書くなどして知らせ、見通しをもたせる。 ・急な日程、教室等の変更の場合は、全体で説明した後、個別に説明する時間をもつ。
	遅刻・欠席等			
	食事			
	身辺処理(整理整頓等)			
	衣服の着脱			
	登下校・教室移動	○		
	危険認知			
	その他			
社会性	指示の理解	○	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉場面での口頭による指示は、聞き漏らしていることが多いが、絵や視覚的な情報を使うと理解がよくできる。 ・筋道を追って話すことが苦手で、話の内容が相手に伝わりにくい。 ・誤解や、思い違いで友だちとトラブルになることが多い。 ・事前の見通しがないと、集団からはずれて別行動をとることがある。 ・事前に集団行動の時間や内容の見通しをもてる、気持ちが安定し、集団行動が取りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を示す、板書する、プリントを用意するなど視覚的に情報を伝える。 ・「今から大切なことを3つ言います」など、注意をひきつけ、見通しをもって聞くことができるようにする。 ・教員との会話のなかで、5W1Hの疑問詞を投げかけるようにする。 ・トラブルがあった場合は、絵を使って具体的にどのような誤解があったか、どのような行動をとることができたかの振り返りをする。 ・場所、時間、内容などを予告し、見通しをもって行動できるようにする。 ・気持ちが不安定になったときは、別室など静かな場所で気持ちを落ち着かせるようにする。
	意思の伝達	○		
	人とのかかわり方	○		
	集団参加	○		
	ルールの理解・遂行			
	感情のコントロール			
	注意の集中・持続			
	その他			
身体機能面	疾病・身体機能		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな音や騒がしいことが苦手であり、耳をふさいだり、言動が荒々しくなったりする。 ・手先を使った細かい作業が苦手で、ハサミで紙を切ったり、糊で紙を貼り合わせたりする活動では作品が仕上がらないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな音が予想される場面には、あらかじめそのことを伝えておく。 ・苦手な手先を使う活動では、個別にスモールステップで指導して、できた経験を重ねるようにする。
	見え方			
	聞こえ方	○		
	姿勢保持			
	体の動かし方・手先の動き	○		
	その他			
学習面	各教科等	○	<ul style="list-style-type: none"> ・一度にたくさんの指示をしたり、口頭での指示をしたりすると聞きもらすことが多く、学習が進まなくなることがある。 ・機械的な暗記や計算は得意であるが、国語の読み取りや算数の文章問題は苦手で、取り組みもうとしない。 ・事柄を羅列した文章は書けるが、様子や気持ちなどを詳しく書くことが苦手で、作文に対して強い苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を示す、板書する、プリントを用意するなど視覚的に情報を伝えたり、手順を示したりするなど見通しをもって学習できるようにする。 ・算数の文章問題では、机間指導の際にイラストや図を示し、何を問われているかをイメージしやすいようにする。 ・基本情報や問われていることに線を引くなどして、分かりやすくする。 ・宿題に得意なことやできることを必ず入れて自信をもたせるようにする。 ・作文を書く時には、内容のヒントとなる写真などを準備し、5W1Hや接続詞のカードを使って文章を作るようにする。
	読むこと	○		
	書くこと			
	板書を書き写す			
	作文	○		
	計算	○		
	家庭学習			
	その他			

小学校で伸びたところ	効果的であった支援内容
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、席を離れたり教室を出たりすることがなくなり、授業に参加できるようになってきた。 ・集団行動がとれるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は、実物を示す、板書するなど視覚的に情報を伝えたり、手順を示したりして見通しをもてるようにする。 ・事前に、活動の場所や時間、内容などを予告する。

※①支援状況の欄は中学校入学2～3か月前に記載すること。

※②支援を必要とする場面に○を記入すること。

■支援プラン

◆入学後2か月間程度の本人・保護者の願い

本人	保護者
<ul style="list-style-type: none"> ・美術部に入部したい。 ・友達と仲良くしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性を理解した対応をお願いしたい。 ・新しい仲間や部活動の先輩らと良い関係がもてるよう配慮してほしい。 ・学習を理解できるようにしてほしい。 ・春休みに担任と面談し、入学式の会場などを事前に見せてほしい。

◆入学後2か月間程度必要な指導及び支援の内容

【支援や配慮が必要と思われる場面の例】

入学式 対面式 身体測定 スポーツテスト 遠足 宿泊研修 昼食 休み時間 教室移動 登下校 等

入学後の2か月間程度必要な指導及び支援の内容・配慮事項等

場面	予想される姿	対応
入学式・対面式	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての場所や担任に対してどのように接したらよいかわからなかったり、式の時間的な目途や内容がわからなかったりすると不安を感じて、式に参加できないのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春休みにのうちに、担任が本人や保護者と面談し、式の流れの説明や会場、着席場所の確認、困ったときに対応する教員の紹介等を事前に行う。 ・式の途中でトラブルがあった場合に対応する教員を決めるなど組織的に対応する。
教室移動	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内の教室配置等がわかると、時間までに移動することができるが、場所がわからなかったり、初めて行く教室への移動は遅れることがあるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内を教員と一緒に行動して、教室移動のシュミレーションを行う。
身体測定・スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・身体測定やスポーツテストでは手順がわからずスムーズに取り組めないのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順番や場所などの手順を具体的に示したプリントを渡す。 ・集団行動にする。
遠足・宿泊研修	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ班のメンバーとのコミュニケーションがとれずトラブルになった場合、その後の学校生活のつまずきになるのではないかな。 ・指示を聞きもらして、集団での活動ができないことがあるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ小学校の友だちと同じグループにする。 ・注意喚起し、指示は短く視覚的な手がかりを活用して伝える。 ・困った時に誰に伝えるのかを決めておく。
授業	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で板書が異なることから混乱し、ノートがとれなくなるのではないかな。 ・口頭での持参物や課題、活動の指示は聞き漏らすことがあるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間で板書の仕方のルールを決めておく。 ・注意喚起し、指示は短く伝える。 ・学習の手順を板書等で示したり、視覚に訴える工夫をする。 ・補助プリントを作成する。 ・持参物等は必ず板書し、ノートに写したことを確認しておく。
部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描くことが得意なので美術部に入部したいが、自分から部活動の見学に参加できないのではないかな。 ・部活動の時間は、好きなことができる時間であることを本人が理解できれば、中学校生活の意欲につながるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術部の顧問から、部活動見学への声をかけてもらう。 ・通常より長い体験入部期間を設定し、活動に慣れる時間を作る。
休み時間・昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・誤解や思い違いで友達とトラブルになることがあるのではないかな。 ・大きな音や騒がしいところでは、不快感が高まりやすく言動が荒くなりトラブルになるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や部活動で、お互いを理解し合う仲間づくりを行っていく。 ・困ったことがあった時、相談できる教員や相談に行ける場所を決めておく。 ・トラブルがあった際は、どのような行動をとることができたかなど振り返る時間をもつ。 ・大きな音や騒がしさでしんどい時には、落ち着ける場所を決めておき、利用する際のルールを本人と決めておく。
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・作文や数学の文章問題など苦手な課題には取り組まないことがあるのではないかな。 ・漢字練習などドリル的な課題には、最後まで粘り強く取り組むことができるのではないかな。 ・定期テストに向けて、計画を立てて学習することが難しいのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の内容を具体的に示す。 ・苦手な課題は量を少なくするなどのスモールステップで取り組むようにする。 ・中間テストの勉強のスケジュールを担当と立てる。

その他留意する事項

- ・学習面、生活面ともに、見通しをもつことで不安が軽減され対応できることが多くなる。
- ・困ったことがあった時、相談できる教員や相談しに行ける場所を決めておく。
- ・保護者は、新しい生活と学習に適應できるか不安に思っているため、学校での様子などを適宜伝え、連携する。

※支援プランの欄は、中学校入学2～3か月前に小中の教員で記載することが望ましい。

支援引き継ぎシート（様式例）

(ふりがな) 氏名	こうち いちろう 高知 一郎	出身中学校	高知市立くじら中学校
		記載者氏名	鯨 花子

■基本情報

学校生活や 将来について	本人の願い	・パソコンを上手に使えるようになって、ゲームソフトのプログラムを開発したい。 ・大学に進学したい。
	保護者の願い	・友達とトラブルを起こすことなく高校生活を送り、無事に卒業してほしい。
得意なこと・興味関心のあること・好きな教科	・漢字を読んだり書いたりすること。パソコンで文字や図を作成すること。ゲームをすること。	
苦手なこと・苦手な教科	・初めての場所、初めて出会う人とコミュニケーションをとること。	

現在受けている外部機関の支援（医療・福祉・教育等）

支援機関名	担当者	診断・服薬・支援の内容など
（支援を受けていれば、記入してください。）		

■支援状況

配慮や支援が必要な場面	支 援	中学校での様子（長所・得意なことを含めた状況）	支援内容
生活面	生活リズム（昼夜逆転等）		<ul style="list-style-type: none"> ・本人からよく話を聞き、ストレスを感じた原因をできるだけ取り除く。 ・教室や特別教室では、物の置き場所を決め、視覚的に分かるよう表示をしたり、専用の箱を準備したりする。
	遅刻・欠席等	○	
	食事		
	身辺処理（整理整頓等）	○	
	登下校・教室移動		
	危険認知		
その他			
社会性	指示内容の理解	○	<ul style="list-style-type: none"> ・静かになったところで、明確に伝えたり視覚的な手がかりを使って伝える。 ・共通の趣味をもつクラスメートと近づける機会を意図的に仕組む。 ・他人と話をするときは、「顔を向ける」ことを本人と決めた。 ・ストレスを感じている様子が見られたら、その日のうちに本人と話をし、教科担当等から話を聞く。 ・周囲の動きが目に入りにくいように、座席を教卓に近い席にする。 ・本人と保護者、スクールソーシャルワーカーで携帯電話使用のルールを決める。
	意思の伝達		
	人とかかわり方	○	
	集団参加		
	ルールの理解・遂行		
	感情のコントロール	○	
	注意の集中・持続	○	
その他	○		
身体機能面	疾病・身体機能		<ul style="list-style-type: none"> ・個別にスモールステップで指導して、できた経験を重ねるようにした。
	見え方		
	聞こえ方	○	
	姿勢保持		
	体の動かし方・手先の動き	○	
その他			
学習面	教科	○	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の流れを視覚的につかみやすいように、ワークシートに手順を示し、使う道具の名称だけでなく、イラストや写真も入れるようにした。 ・テスト勉強のスケジュールを担任と作成した。
	読むこと		
	書くこと		
	計算		
	家庭学習（テスト勉強含む）	○	
その他			

中学校3年間で伸びたところ	効果的であった支援内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちが抑えられなくなるような場面が少なくなり、自分で気持ちをコントロールできるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人が納得するルールを本人との合意で決める。 空き教室などを気持ちを落ち着ける場所として決めておく。

■ 学校生活について

高等学校入学後、4月から5月の学校生活について

【支援や配慮が必要と思われる場面の例】
 入学式 対面式 身体測定 スポーツテスト カリキュラムガイダンス（科目選択等） 遠足 宿泊研修
 昼食 休み時間 ホームルーム活動（LH・特別活動など） 教科（授業） 部活動 仲間づくり（コミュニケーション）

場面	予想される姿	必要と思われる支援
入学式・対面式等	<ul style="list-style-type: none"> 式の時間的な目途や自分の着席する場所が分からなければ、生徒はストレスを感じるのではないかと。 入学式等に参加できなかつたりすると、その後の学校生活へのつまずきになると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 入学式の前に生徒に校舎内を確認させるとともに、安心スペースを使用できることを伝えて、生徒と使用ルールを決める。 式の流れ、時間的な配分等をプリントで事前に知らせる。 入学式以前に会場や着席場所を本人と確認しておく。
身体測定・スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> 測定場所や順序など、複数の情報や指示が提示されると混乱し、測定やテストができなくなるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 測定場所や順番、時間的な目途をプリント等で事前に知らせる。 個人行動ではなく、集団行動にする。
遠足・宿泊研修	<ul style="list-style-type: none"> 知らない人の中で話をするのが苦手なので、仲間作りができなかつたり、活動が楽しめなかつたりするのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校からの仲の良い友だちなど旧知の生徒を入れてグループ編成を工夫する。
ホームルーム活動	<ul style="list-style-type: none"> 友だち関係が作られていない中での自己紹介やグループでの話し合いなどに、生徒は強いストレスを感じるおそれがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介や意見を述べる活動では、話す内容を事前に作成してから発表するようにする。 早い段階で一人一人の違いを認め合える取組（エンカウンター等）を行う。

その他留意する事項

- 困った時に相談できる教員や気持ちを落ち着かせるための安心スペースを決めておく必要がある。
- 生徒の特性に配慮した声かけをする。
- 先の見通しがもてない、人間関係のトラブル、学習が進まないときに不安やストレスを感じる。
- 昼食については、一人で食べられる場所を確保して、利用してよいことを本人に伝え、教室か別室かを本人が選択できるようにすることが望ましい。
- パソコンに興味があるため、パソコン部に入部すれば、新しい学校生活への意欲を高めるきっかけになると考えられる。
- 保護者は本人の特性を理解しており、学校への要望も具体的に提案があり、協力的である。
- 貴校への入学は第一志望ではなく、新しい学校生活への意欲が低下していることが考えられる。

本シートを進学先の高等学校へ提供することに同意します。

平成 年 月 日
 保護者氏名 印

以上のことについて報告します。

平成 年 月 日
 校長氏名 印